

# まちの話題

話題のニュースやイベントなどを紹介！

## お相撲さんとはっけよーい！

市出身の力士・勇磨猛さんらが園児と交流



阿武松部屋の阿武咲関と市出身の勇磨猛さんら4人が市内保育園8園の園児と交流しました。大阪場所の開催に合わせ実現したもので、3月29日には勇磨さん出身の天の川保育園を訪問。園児

と一緒に四股を踏んだり、質問コーナーをしたり楽しみました。園児4～5人が一組となって実際に取り組みも行い、枠外に力士を押し出すと会場からは大きな歓声や拍手が。勇磨さんは「子どもたちから元気をもらいました。僕の活躍で地元を盛り上げられれば」と話しました。

## 友好の声援、甲子園に響く

初出場の別海高校を市民約500人が応援



3月20日、春の選抜高校野球大会に出場した友好都市・北海道別海町の別海高校を応援するため、枚方市民約500人が球場を訪れました。上野在住の中野慧人さん(15歳・写真左下)は同町と市の交流イベントを通じて知り合った同高2年の大野選手へエールを送るために家族と球場へ。アルプススタンドで声を張り上げ応援し、試合後「僕も春から高校球児になる。憧れの甲子園に出ているのを見て、友人が目標になった」と笑顔で話しました。

## 違いを知って新たな学びを

東香里小児童が仮想空間で国際交流



3月19日、東香里小学校でカンボジアの学校とインターネット上の仮想空間で交流する授業が行われました。4年生の総合的な学習の時間の一環で、「まちの未来」をテーマに描いた絵を仮想空間に展示し、アバター(右写真)で交流しながら作品を鑑賞。カンボジアの子どもたちが描いた絵を見た児童は「道路の絵がたくさんある」と日本では当たり前風景に驚く様子も。担任の磯西重行さんは「文化の違いを知ることで新しい学びを得るきっかけになれば」と話しました。

## 劇で伝える 子どもたちのSOS

「子ども食堂」テーマに小学生が熱演



3月31日、牧野生涯学習市民センターで子ども食堂が題材の創作劇「子ども食堂物語」を小学生らが演じました。子ども食堂団体「みんなで作る学校とれぶりんか」が活動を通じて直面した子どもたちのさまざまな困難を伝えようと企画。劇中では子ども食堂を訪れた不登校の少年が、交流の中で心を開く様子が描かれました。息子が出演したという畑玲伊さんは「周囲との違いを子どもは特に敏感に感じると思う。子どもの笑顔があふれる社会になれば」と話しました。

↓ほかの話題はこちらでチェック！



市公式フェイスブック

「マイカタチャいます、ひらかたです。」



市公式 X

「こちら、枚方市です！」



市公式インスタグラム

「i\_am\_in\_hirakata」



市公式LINE

「枚方市」

## 交通安全は「あたりまえ」

一日署長に市PR大使のCOWCOW



4月5日、市PR大使の漫才コンビCOWCOWが、春の全国交通安全運動の一環で枚方警察署の一日署長を務めました。

昨年1年間の府内での交通事故による死者数は148人と2年連続増加。パレードでは東海大学附属大阪仰星高等学校の吹奏楽部の生徒らによる演奏でニッパーク岡東中央から枚方市駅までを歩き、沿道の市民らに笑顔で交通安全を訴えました。COWCOWの二人は「交通安全を守るのはあたりまえ！」と呼びかけていました。

## 美しい字で周りを笑顔に

書き初め日本一の関西創価小に市民文化賞



全国書き初め作品展覧会小学校の部で団体優勝した関西創価小学校（東中振2）に、3月15日、市は市民文化賞

を贈呈しました。個人でも会長賞を受賞した小学2年生の山下美咲さん（写真中央）は「これからも美しい字を書くことで周りの人を笑顔にしていきたい」と喜びを言葉にし、同校の本房達哉校長は「心の成長にもつなげていきたい」と話しました。同校は同展覧会で16回目の全国優勝で、市民文化賞の受賞は9回目となります。



▲長尾の工房内の様子。約30年間に製作した恐竜模型は850体を超える。

▶ひな型製作を務めたJR福井駅前の実物大恐竜ロボット。



◀くずはモールのくずはアートギャラリーでの個展で（平成22年）。

## 今も長尾の工房で恐竜模型を製作中！

型製作中です！

長尾の工房で今も絶賛恐竜模型の製作中です！

長尾の工房で今も絶賛恐竜模型の製作中です！

# 枚方思い出の1コマ

ひらかたかぞく

# 家族

枚方ゆかりの著名人の皆さんが秘蔵の写真とともに思い出を語ります。

第65回 あらき かずなり 荒木 一成さん



恐竜模型作家。寝屋川市出身。平成22年から長尾家具町に荒木恐竜工房を構える。海洋堂の模型や博物館・科学館の展示模型、玩具・フィギュアの原型のほか、福井県立恐竜博物館や国立科学博物館などの展示模型、JR福井駅前の実物大恐竜ロボットのひな形・原型など多数制作。

病院長として約20年間、枚方の病院で働いたり、結婚して楠葉に住んだりのご縁があった枚方市。模型一本で独立後、作業スペースを探していたところちょうどいい物件が枚方市に！平成22年から長尾に工房を構えることになりました。同年にくずはモールで開催した個展では、模型教室や会期中に恐竜を一体作り上げるパフォーマンスに挑戦し、最終日にはたくさんの人が見守る中無事に完成。毎日のように見に来てくれていた子どもたちと一緒に完成を喜び合えたことは良い思い出です。

## 編集後記

特集で使う写真を撮影するため、晴れた日に公園へ。話を聞いていると、意外と市外から遊びに来た人が多いことに驚

きました。市民だけでなく、市外の人々の目にも魅力的に映る公園がたくさんあるのだと誇らしくなりました。



編集者 N